



学校だより

11月号

令和元年11月1日
横浜市立善部小学校
校長 小澤 紀子

人に学び、自然に学び、まちに学ぶ

学校長 小澤 紀子

学校公開では、たくさんのご来校をいただきまして、ありがとうございます。子どもたちの普段の授業の様子や特別出前講座など、いろいろな形態の授業を参観していただけたことをうれしく思います。いただいたご意見は今後の教育活動に生かしてまいります。

さて、10月30日は、全学年で出前授業が行われました。

1・2年生は野毛山動物園の飼育員さんによる出張動物園教室でした。動物のえさの種類や量、飼育員さんの一日や動物の健康観察など、動物園の仕事についていろいろな話が聞けました。動物が好きな子は目を輝かせて聞いていました。「草食動物の健康観察はうんち。」と写真が出てきた時は、特に喜んでいましたよな…。

3年生は醤油出前授業です。醤油博士が醤油の秘密をいろいろ教えてくれました。醤油はなんと300種類もあることには、クイズの正答率も50%を切っていました。質問をしながら説明は進み、話が分かったところで実際に味見をしました。醤油が出来上がる工程の3種類を味見したのですが、「おいしい。」「味が違う。」などの感想にはこちらがびっくりでした。国語の「姿を変える大豆」の学習につながっています。

4・5・6年生は「親子で学ぶ携帯教室」でした。LINEのインストラクターさんに携帯を使用する上でのマナーや注意点を教えていただきました。何度も講習を行っています。持っていない子にはわからない話だと思われるかもしれませんが、子どもたちのスマホの使用率や所持率は思っている以上に多く、年齢も低くなっています。所持する前にきちんと学ぶべきことは、繰り返し指導していきたいと考え、今までにも何度かこのような機会を設けています。

5年生は芸術文化教育プラットフォームでミュージカルに挑戦しました。踊りはありませんでしたが、男子と女子の歌でのやり取りと簡単な動作に、少々照れながら取り組み、微笑みと拍手が送られました。先生方の歌もあり、発表前日にしっかり練習していました。アラジンの舞台です。

6年生は、留学生による出前授業です。中国や台湾の芸術や遊びなど、実際に行ってみて、理解を深めていました。異文化交流の一端となりました。

4・5・6組は、三浦の宿泊体験学習で、自分のすべきこと、役割などをしっかり行い、友達と一緒に活動し、たくさんの楽しい思い出をつくってきました。

31日は1年生のドングリフェスタがあり、善部保育園の子を招いて、いろいろなお店で賑わいました。準備から当日の運営まで、自分たちで、そしておもてなしの気持ちでの活動でした。

どの出前授業・体験活動もよい勉強になりました。教科の学習につながる活動もたくさんあります。教科書での学習も大切にしていますが、実際に本物を見たり体験したりすることは、とても大切な学習となります。保護者の方にも参観していただきたいと、学校公開週間に出前講座が集中しましたが、本物にふれたり、体験の中から気づいたり学んだりしたことが、心に残っていくことを願い、これからも体験学習を大事にしていきたいと思います。出前授業で関わってくださったたくさんの方々に心から感謝いたします。ありがとうございました。

たくさん学びの場・機会・人に**であい**、実際に**ふれあい**、体験し、いろいろな人の考えや思いを伝えあい**ひびきあい**ながら、豊かな体験を大事にしていきたいと思います。

6年生が下見をし、準備してくれた全校遠足。今年もスマイル班活動の最も大きな行事としてリーダーシップを発揮してくれました。6年生の思いや願いはきっと5年生に引き継がれたでしょう。